

新庁舎建設基本設計案へ

寄せられたご意見をお知らせします

市は、高梁市新庁舎建設基本設計案への意見募集（パブリックコメント）を行いました。主な意見と市の考え方をお知らせします。寄せられた意見は、可能な限り設計案に生かし、成案として取りまとめます。

■問い合わせ 企画課企画係 ☎020208

◆意見募集期間

1月15日(火)～2月14日(木)

◆意見提出者数

10人

◆意見提出件数

13件

環境への配慮

- 太陽光、風力を利用した常夜灯を公園や駐車場内に設置してほしい。
- 屋上の太陽光パネルは、もっと大きくしてほしい。
- エネルギー使用量の見える化の実施や、デマンド(最大使用電力)管理可能な設備にしてほしい。
- 照明は、全館LED化してほしい。
- 太陽熱、まきボイラー、自然換気なども積極的に取り入れてもらいたい。

省

資源・省エネルギーに対応した庁舎を目指しています。今後、実施設計を進める中で、次の設置等を検討します。

- ・太陽光や風力を利用した常夜灯の設置
- ・太陽光パネルは、建物の構造等も踏まえ、最大限の発電容量を目指します。
- ・エネルギー使用量の見える化の実施や、デマンド管理可能な設備の導入
- ・整備費も考慮しつつ、より多くのLED照明の導入
- また、効果と費用を考慮し、太陽光発電、階段室を利用した自然換気、雨水のトイレ洗浄水利用の3点を導入することにしています。

正宗公園

○公園内に、通路やステーションを設置したら、子どもが遊べなくなるのではないかと、トイレをなくすことは、利用者への配慮が足りない。

○公園を移転し、公園敷地に庁舎を建設できないか。

基

本設計案にある公園の敷地図はイメージであり、南出入口から庁舎へ入る専用の通路やステーションを整備する計画はありません。公園の位置や機能は、現在のまま変更しませんが、老朽化している遊具等の手入れを行い、トイレは使いやすい位置に再整備したいと考えています。

また、正宗公園は都市公園であり、災害時の一時避難所にもなっています。公園敷地に庁舎を建設し、都市公園を移転するには次の条件が必要となります。

- ・移動、新設に市民、関係者の理解を得ること
- ・都市計画審議会の手順・手続きが必要であること

この条件や、事業期間、事業費の制約、プロポーザル提案方式による設計業者の選定を経て、公園は位置、機能を変えず新庁舎と一体的に利用することになり、基本設計(案)の敷地図にて事業を進めていきたいと考えています。

庁舎デザイン

○設計案のイメージ図は、「高梁らしさ」「新しさ」を感じない。

本設計案に示したイメージ図は、敷地図画、建物構成、平面計画等を踏まえたイメージ図であり、本意見募集等のご意見を踏まえ、内部でもよく検討し、成案にしたいと考えています。



基本設計(案)のイメージ図

駐車場の整備

- 思いやり駐車場は、庁舎出入口横の配置を検討すべきではないか。
- 来庁舎用駐車台数約90台も必要なのか。
- 公用車の駐車場は、分庁舎を整備して駐車場にするなど、周辺の市有財産を有効活用すべきである。

駐

車台数は、来庁者数データやアンケート調査結果等により算定し、平置きで来庁舎用約90台と公用車用約20台の整備を計画しています。庁舎出入口付近には、思いやり駐車場を優先して配置しています。思いやり駐車場の配置も検討しましたが、歩行者の通行の妨げになりますので、思いやり駐車場は、北側駐車場に配置することとしています。

公用車は、新庁舎に入る部署が保有する台数を基に、必要最小限の20台にとどめ、分庁舎等周辺の市有財産の有効活用も検討しています。

防犯対策

○夜間休日開放可能エリアとして1階～3階の部分は、防犯上、利用者の安全が確保されるのか。夜間休日の開放はやめてもらいたい。

全ての人が使いやすい庁舎

○ピクトグラム(視覚記号)の採用など誰でもわかりやすい表示を検討されたい。

○子供連れで利用しやすいキッズスペースなどは設置するのか。

○駐車場から庁舎北出入口までの安全対策はどのようなになっているのか

○雨天時、思いやり駐車場から庁舎に入るルートの雨対策がない。

○設計時、ユニバーサルデザインの専門知識を持っている人の意見も取り入れられているのか



休日・夜間に開放可能なゾーン

災害への対策

○高梁川の氾濫などの水害に対する防災対策はどのようなものか。

過

去の経験や情勢を踏まえ、本市の水害や地震に対するリスクは小さいものと判断しています。しかしながら、災害が起きた場合、新庁舎は防災拠点や市民の一時避難場所になるため、整備費や維持費も考慮した結果、次の対策を計画しています。

- ・水害対策：庁舎の位置は、高梁川が氾濫しても浸水しない想定していますが、1階の床高さは、東側道路から約70センチ程度高い位置とし、自家発電や空調等基幹設備は、屋上を中心に高層階に配置します。
- ・地震対策：耐震構造とし、同じ規模の建物に比べ1.25倍の強度とします。

夜

間休日の開放可能エリアは、フォーラムなど、市民の皆さんが参加する行事

誰

にもやさしい庁舎デザインを目指しています。庁舎設計